

# ～津軽の冬の風物詩～ ストーブ列車運行はじまる



12月1日(日)に津軽五所川原駅でストーブ列車の出発式が行われました。出発セレモニーで澤田長二郎社長は「たくさんの方が乗って、いい思い出になれば幸いです」とあいさつしました。一番列車に乗ろうと集まった人たちは乗車後、車内のだるまストーブであぶったスルメを食べたり、お酒を飲んだりしながら、レトロな車体のノスタルジックな雰囲気を楽しんでいました。ストーブ列車は、来年の3月31日まで運行します。

津軽鉄道は、来年で操業から90年を数えることとなりました。公共交通としてのみならず、地域活性化に係る広域連携の取り組みと関係人口の増加に繋がっていて、まさに地域にはなくてはならない宝と言えます。しかし昭和49年(1974年)をピークに利用者数は減っていき、存続の危機に直面しているのが現状です。今年の乗車人数は対前年比で987人の増ですが、目標の30万人にはまだまだ足りません。本州最北端の民間鉄道を支えるには、みなさんの力が必要です。地域の宝を皆さんの乗車で支えてみませんか。



乗って応援!!		津 軽 鉄 道
令和元年度 目標乗車人数	300,000人	
令和元年度 4月～9月分 の乗車人数	133,782人	
目標まであと……	166,218人	

